

「でんしゃのトーリー」

指導目標	◎電車のトーリーやお客さんのために働く係の人の思いについて考え、お世話になっている人々に感謝の気持ちを表すことができる。
公共交通を教材とする利点	自分たちのまちにも様々な公共交通機関があり、それを支える人々の存在や、自分たちも支えられていることに気付くことができる。 また、子どもたちが公共交通に関心を抱き、自分も利用してみたいと思える。
対象学年	1年生
対応教科	道徳
標準校時	1コマ
学習構成	<p>1. 普段、どんな乗り物に乗っているかな？</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">・乗り物の写真を提示し、普段の生活で使っている乗り物について考えてみる。 <p>2. 副読本『でんしゃのトーリー』の朗読</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">・副読本『でんしゃのトーリー』を読み、トーリーの点検や掃除をする人がいることに気付く。・係の人が毎日トーリーを整備している理由を、トーリーやお客さんの視点から考える。 <p>3. 係の人々に感謝の手紙を書こう</p> <ul style="list-style-type: none">・お客さんになりきって、係の人々に感謝の手紙を書く。 <p>※道徳の副読本『でんしゃのトーリー』を使用している。</p>

札幌らしい交通環境学習とは、「MM※教育」に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としている。初等教育における学習教材として適することが、これまでの研究事例等で明らかとなっている。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策。

■実施例

実施校 札幌市立三角山小学校 実施日 2014年2月5日（水） 5校時

科目/单元名 道徳「でんしゃのトリー」[1時間扱い] 指導者 内藤 広大

[指導計画]

1.教材にかかわって

①学習指導要領の位置づけ

[小学校学習指導要領解説 道徳編]

●第2章 内容

[第1学年及び第2学年]

2 主として他の人とのかかわりに関すること。

(4) 日ごろお世話になっている人々に感謝する。

この段階においては、日常の指導などにおいて、身近で日ごろお世話になっている人々の存在に気づき、それらの人々の善意に感謝する気持ちを具体的な言葉に表し、行動に表す指導が求められる。その際、その人々が自分に寄せてくれた善意について考え、そのときに自分が感じた感謝の念について改めて考えることができるようにすることが大切である。

②モビリティ・マネジメント教育の視点から

本校の校区には、JRや地下鉄の駅はない。バス路線はあるが学校のから少し離れた大きな道路まで行かなくてはならない。子どもたちからは、家族と出かけるときはほとんど自家用車やタクシーを利用しているという話をよく聞く。これらのことから、三角山地域において、バスや地下鉄などの公共交通機関が自分たちの身近なものであると考える子どもは少ないといえる。

1年生で生活経験の浅い子どもたちには、今回の授業を通して私たちのまちには、様々な公共交通機関があって、それらは誰でも利用できるということに気付かせたい。まずどの子ども公共交通について「知る」という機会を保障することが、低学年の子どもたちにおいては重要である。

また、副読本の読み取りやトリーの乗車体験を通して、公共交通を支える整備員の存在も学習する。授業の中で整備員の方々はどのようにして毎日細かい点検をしているのかを考えることで、整備をしてくれる人々のおかげで私たち利用者の快適性や安全性が守られていることに気付くのである。授業の最後にはお客さんの視点から整備員に手紙を書く活動も取り入れる。今回の学習を通して、子どもたちが公共交通の種類やそれを支える人々の存在に気付くことにより、公共交通に関心を抱き自分も利用してみたいと思えることを期待している。

③副読本の活用

道徳の副読本を読み取ることで電車を整備する人々の存在に気づき、この人々によって私たちの安全が守られていると実感する。

1年生が公共交通の具体的なイメージをもつことができるよう、それぞれの写真資料を教師が作成し、掲示する。

2. 本時の目標と学習展開

●目標

- ・トーリーやお客さんのために働く係の人の思いについて考え、お世話になっている人々に感謝の気持ちを表すことができる。

●展開

学習展開	教師のかかわり
<p>みんなは普段、どんな乗り物に乗っているかな</p> <p>家の車 飛行機 バス 電車</p> <p>いろいろな乗り物があるよ</p> <p>○でんしゃのトーリーを読む トーリーを点検したり、きれいにしたりする人がいるよ</p> <p>・しらべる ・ぴかぴかに ・とりかえる</p> <p>点検や掃除をする人</p> <p>よなかじゅうこうじをすることもある</p> <p>たいへんだ!</p>	<p>○写真を提示し、イメージをもてるようにする。</p> <p>○整備されていないトーリーを提示し、副読本の記述に注目できるようにする。</p> <p>○係の人が行っていることに線を引かせ、副読本の読み取りを深めていく。</p> <p>○きれいに整備されたトーリーに乗る経験をさせ、お客さんの視点からも考えられるようにする。</p>
<p>係の人は、どうして毎日点検して、トーリーをぴかぴかにしているの?</p> <p>トーリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい ・楽しい ・気持ちが良い ・もっと走りたい <p>点検や掃除をする人</p> <p>わたしたち</p> <p>お客さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが良い ・安心 ・安全 ・もっと乗りたい <p>トーリー、そしてわたしたちのために</p>	<p>期待させる道徳的価値</p> <p>物語の登場人物になりきって、整備をしてくれる人々に感謝の手紙を書くことができる。</p>
<p>係の人は、トーリーやお客さんたちが気持ち良く乗ることができるように毎日整備してくれているんだね。</p> <p>○お客さんになって係の人たちに手紙を書く</p> <p>きれいにしてくれるから、きもちよくのることができています。</p> <p>てんけんをして、あんぜんをまもってくれて、ありがとうございます。</p> <p>みんなの安全を守るために働いている人のことがわかったね。</p>	

板書計画



3.本時で活用する資料

●本時で活用する資料

